

# 学習で活用するために一人一人に貸したタブレット

2021.10.11 校長 西谷 秀幸

3年前に世界の主な国で「ICT活用調査」が行われました。ICTというのは、簡単にいうと、パソコンやタブレット、スマホ、インターネット等のことです。

ここで問題です。「授業で一番パソコンやインターネットなどを使っている国」は、次のどこでしょう。

①デンマーク ②アメリカ ③日本 (正解は、デンマーク)

では「授業で一番使っていない国」はどこでしょう。

①オーストラリア ②アメリカ ③日本 (正解は、日本)

では、「パソコンを使って宿題をするのが一番多い国」は、次のどこでしょう。

①デンマーク ②アメリカ ③日本 (正解は、デンマーク)

反対に「パソコンを使って宿題をするのが一番少ない国」はどこでしょう。

①オーストラリア ②アメリカ ③日本 (正解は、日本)

最後に、もう1つ問題です。「1人用ゲームで遊ぶのが一番多い国」はどこでしょう。

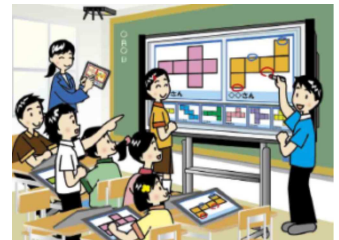
①フランス ②アメリカ ③日本 (正解は、日本)

さて、成丘小の皆さんには、去年の11月に板橋区の小学校で1校だけ、他の学校よりも半年も早くタブレットが渡されましたね。そして、今年の9月からは、板橋区のすべての学校、すべてのクラスで同時に使えるようになりました。

教室をまわっていて、皆さんが勉強で使っている姿を見て、1年生も2年生も「すごいなあ…」と感心しています。これなら、次の調査では、「授業でパソコンなどを世界で一番使っている国」になるかもしれません。

でも、残念なことがあるのです。

このタブレットは、「勉強」のためのものなのに、勉強に関係ないYouTubeを見たり、ゲームをしたりして、タブレットを使うための約束や家の人との約束を守らない人がいるのです。



皆さんは、「あれはダメ」「これはダメ」と言われると、嫌な気持ちになりませんか。

でも、当たり前約束が守れないと、「あれはダメ」「これはダメ」と細かいルールをたくさん作らなくてはなりません。そうしたら、結局、嫌な思いをしたり、困ったりするのは、皆さんの方だと思のですが、みんなどう思いますか。

タブレットは、これからの世の中を生きる皆さんが、大人になっても世界で負けずに仕事をしていけるように、学校が「貸している」ものです。決して、皆さんに「あげた」わけではありません。

そして、このタブレットは、6年生が卒業するときに返してもらい、新しく入学する新1年生に貸すこととなります。ポロポロのタブレットだったり、勝手にいじくったりしているタブレットだったら、今度の1年生が悲しい気持ちになってしまいますね。

このタブレットを上手に使うことができれば、今までとは違う勉強をすることが出来ます。「勉強」に使うためのタブレットであること、皆さんに「貸している」タブレットであることを忘れないで、ルールを守って、楽しく勉強するために使いましょう。

これで朝会の話が終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

## 〈先生方へ〉

本日は、校内研究で初めての生活科の授業研究になります。私自身、生活科については、勉強不足のところがあります。「授業を通して、みんなで研究していく」この「授業研究」の精神で研究を深めていきましょう。小倉先生、2年生の先生方、よろしくお願いします。

さて、今週は、昨年度、一人一台端末の先行研究が始まる際に話をした内容をリメイクして話しました。すでに御存知のように、79か国・地域（OECD加盟37か国、非加盟42か国・地域）、約60万人の15歳（日本の高校1年生）の生徒を対象に調査が実施されたPISA 2018の結果について、国立教育政策研究所が公開している「2018年調査補足資料（生徒の学校・学校外におけるICT利用）」によると、日本の教育におけるICT活用状況は、OECD加盟国の中で最下位で、危機的な状況であったことが読み取れます。GIGAスクール構想は、この結果が大きく影響していると思われ、新型コロナウイルスによって前倒しされました。

職員会議でも話をしたように、一人一台端末については、区内で年間16億圓、1校あたり年間2200万円（月185万円）の費用がかかります。年間2200万円というのは、1校あたりの学校令達予算をも大きく上回ります。

本校では、多くの児童、学級で積極的な活用をして試行錯誤しているところですが、残念ながら、学校や家庭でのルールが守れず、ゲームをしたり、YouTubeを見続けたりしている児童が少なからずいます。遊びではなく、学習のためにPCを使う…。卒業時に返却して新1年生に貸与される…。それらをもとに、活用するにあたっての約束事を児童が自ら考えられるように、各学級でも補足してください。

また、16日は今年度最初の学校公開となります。一人一台端末の積極的な活用によりこれからの授業が変わることをぜひ保護者にお見せください。よろしくお願いします。

### 【資料】ゲーム&チャットは1位で学習は最下位…日本の15歳のICT活用の実態

#### ●授業でICT活用しない国No.1（※授業で活用1位…デンマーク）

「1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を使う時間の国際比較」の設問で「普段の1週間のうち、**教室の授業でデジタル機器をどのくらい利用しますか。**」に対する「国語」の授業についての調査結果を見ると、日本は「利用しない」が83.0%。OECD平均は48.2%で大きな開きがあり、**OECD加盟国の中でも、参加国・地域の中でも日本はもっとも「利用しない」国**という結果となった。「国語」のほか「数学」「理科」「外国語」「社会科」「音楽」「美術」も同様に「利用しない」という回答がもっとも多い結果となった。

#### ●コンピューターを使って宿題をしない国No.1（※宿題に使用1位…デンマーク）

授業でのデジタル機器の活用状況から推測できるように、日本は学校外での学習においてもデジタル機器の活用が進んでいない。「あなたは、次のことをするために学校以外の場所でデジタル機器をどのくらい利用していますか（携帯電話での利用も含む）」の質問では、「**コンピューターを使って宿題をする**」について、78.8%が「まったくかほとんどない」と回答しており、**日本はコンピューターを使って宿題をしない国ナンバーワン**となっている。

さらに、「携帯電話やモバイル機器を使って宿題をする」についても72.0%が「まったくかほとんどない」と回答。「コンピューターを使って学習ソフトや学習サイトを利用する」については78.8%が「まったくかほとんどない」と回答、「携帯電話やモバイル機器を使って学習ソフトや学習サイトを利用する」については72.8%が「まったくかほとんどない」と回答しており、調査参加国の中で「学校外の学習でもっともデジタル機器を使わない国」という結果となった。

#### ●「遊び」でデジタル機器を使う国No.1（※ゲーム使用28位…デンマーク）

では、学校外での「遊び」でのデジタル機器の利用状況についてはどうだろうか。「学校外での平日のデジタル機器の利用状況の国際比較」の調査結果によると「あなたは、次のことをするために学校以外の場所でデジタル機器をどのくらい利用していますか（携帯電話での利用も含む）」という質問で、「**1人用ゲームで遊ぶ**」について「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせて47.7%でOECD加盟国を含めた**調査参加国の中で1位**となった。また、「Eメールを使う」については、「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせてわずか9.1%で最下位。「**ネットでチャットする**」については、「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせて87.3%で、**こちらもトップ**という結果になっている。

日本の子どもたちは日常的にデジタル機器に触れ、使いこなしているにもかかわらず、学校での学習と学外での学習が、子どもたち個々のデジタル機器とリンクせず、「遊び」にばかりデジタル機器を利用しているというのが現状だ。